滑稽和合人

二編

上

へ13
3128
4

特
へ13
3128
4

本屋道楽

本屋道楽

自序

什麼此小冊は端書の恥辱
わのゝめ芎瑠の糸口を引くべき僕元来
業は小刀細工なれども面あり百云ふ
和なべの燈四年法れ小貢と
なりくゝ山見仕よ水ゝ筆先よりかきこまん

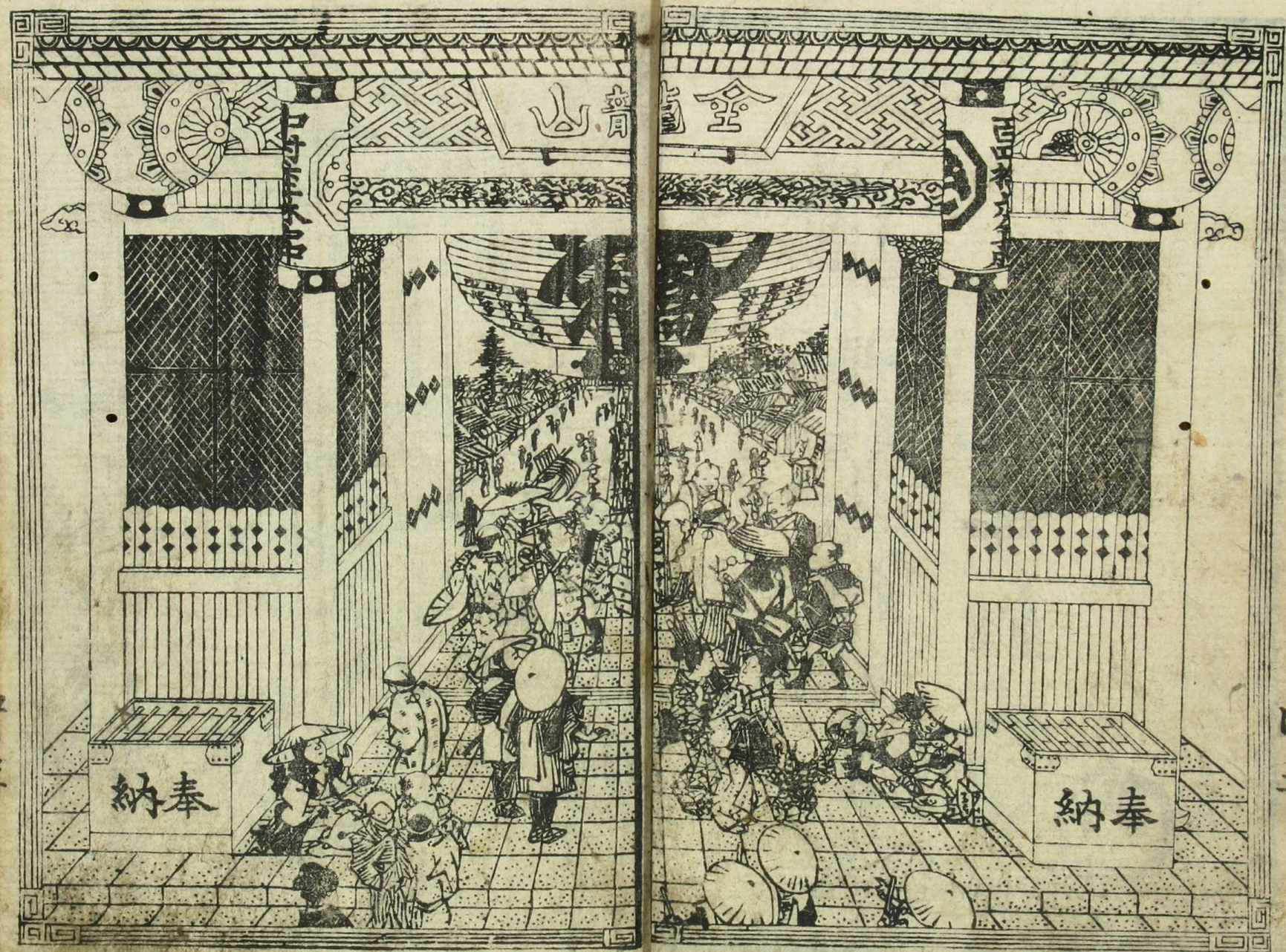
三千燈明と苦しむ
はるかなるのみ付け大俗愚談の
小冊類机上に充ぶて見る人なく
むなしく紙魚巣となる歟を
不思議に藝倉に書物有て大人の
序文に画工の力添くやうく

揚本乗氣なり拙元が
懲善力をかり我を
扶けの名を鯉丈と付し
文ちう人のことをもの掛物理
きこりん歟て所に二ツ如形
あん和てなし教へ人の

ねんごろ下主の苦言の安うけ
合和合人の二編を文溪堂の崔
侶子。臆面なる奥山法師
向の海苔の浅草地内安度
かゝる虱丈の滑稽唯夢先
妙至蔵と見まつり

浅草訪街河岸の市隱

滝亭鯉丈誌


奉納
奉納

東連
宮戸
宮戸
宮戸

宮戸川
東連
東連
東連

滑稽和合人二編上巻

童戯人　江戸　瀧亭鯉丈　綴

唯なのめ。ちゐじゞが原のさゝもぐさと大慈大悲の誓ひみち。枯こと榎も抜落くめぐこゝぞ深き法の座。地獄の主も婆アさゝみを連く地尾へ楽隠居過報を待つ森繹伽堂立くゝ知を韋駄天堂も。同じ賽ゝ秒の山をゝ。鐵壁もくぐく雷神も観音力みハ門番をつとめ。廿四間ふ蘭麝の香ア

満〻て二十間の竈の釜に連く賑〻し諸願成就の願ハ名家の葉をふるひいづまあやゝとゆきぞ上げらゝ源之位のくまぐゝみハおとろうん寺。猩をくぐつて仁王門の中ハ疱瘡まゝの子供市をゆ〻源勇門の外ハ夫大臣の集舎絵ぞ。うゝ紫花の霊場も奥山とよび名みよるゝ。今ハひゝ〻のてこのぐゝとんざ茶ぐまをたぎゝ〻せて。客をゆてあを古ぐねきあまバ後ろあを落く

揚枝見垂牙とぐゝ〻く人を喰ハ猪ありたり勝手の白蓮の矢とり的ハひゝろ人撫あぐゝ。四すの的をねらひよる。夫ゝをゆをぬ白面九尾。まゝの早きまゝ妻見てまん。猫ぐ人ゝの仙物まの仙も。ゝるゝを〻〻の鰹屋ハ大坂のあぐぞあぐゝ。ゝ。客ふ波の沙編ふ見へゝる。紙乗沖ゝる。中形の信衣。月和見猪ぐけふくいつりの通り奥山をぐゝつき歩沙あゝ茶ん世の

旅を通さば。茶屋の娘は奏うけ　女「ヨヤ茶屋さん
さん張吉さんおもろひぐ。マアちょいとおうりヨ。
すぐ通ってハさいな　「ゆめ人も氣のさやは
ゆんぐぜ。どゝ〜〜宮をすぐ通りがさまるりの
ろナ。駕を出る時ろう。おめ体い皆戸川と関れハ
きまっくあるのぐハナ　女「へヨさろちくでぐざろと
ゆんぐ。門ちげくでおまの毒ぐぐ。マアこざいとお
茶を下。まんざら毒も入ませんろう。改まる

きろぐぜと。おひと亜ろぐ。ヨヤ張吉さんナゼ
そとふころく。おいぐろさろ。そまをわど生をおろぐ
あさろをひろまあとあやく。お氣のどくぐざれ
「コウ　おせろさん。おめくいやきたろいのくまど。
そのいのこけぐいねくが。ぢろふ閉ろう。のどをろと
うせく茶く。まとあくのふぐ茶をろろをのと。
思門く茶くふ。ちげくいねくが。こくろをちょいと
ちろさろぐ。疲くさろ。て閉くたのろぐ　いやふ

あれこのよ・女「ヨク」御ぐ　おまやくみさうま
ちこと立「張」ぺ　いとねいつこごろうつぶ　おあく　今
ちやくこ　ちやくこんさん　張さん　おそろのぐと　ひつこころう　女「左
ちよ　ぜ　ぜとてくげく　ちまてこるぜ　ちやく　張「ゆき
ぜとてくげく　ちまてこるぜ　ちやくこんさん　張ぶ　面と　ちのこぶ
きうこやうを　おちよ　ひといこまて　なまるものあん
まうこおあく　見ぐきうねく　女「ヨ　ちこ　ちこ　ちんみこるは
こちをちんこ　ちこ　ちこ　ちねこ　ちんみこ　ちこ　ちこ　ちこ

おうけうきこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ「コレ　おまうさん　甚　一　伴　ちこ
張キ　ふ　あやまうこ　ちこ　伴　遠　ぐ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ
こ　ちこ　ちこ　面　ちこ　ぐ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ
だ　ちこ　ちこ　何　ちこ　世　ちこ　ふ　ね　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ
きうこやうでもう　張ぶ　場町　菅屋町　ちこ　ちこ
まぐこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　張キ　ちこ　ちこ
遠ぶ　ちこ　物　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ
あるあんぐこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ　ちこ

江戸川
龍亭

ちょんと一ト切きくらくるそのぶ。張キ
ちゃぶ顔をこんねんあの乳安く。寝あのくく
居るらら。るんとも男へ。夜る。夜中だ。
ぬけ。ぬるとこんやのの。氣のような。紀
物。ちょとのくぶちけくるぜそのつくぶサ。
物ぶらいくぶ放屁ぶサ。臭ふ毒氣のある
男ぶたくぶ。ちくうんてん
ぶんてんぶんあんぶ人るふ。仕ぶ歌マアるあ

まべよく出ぶ。猿サノ。その間うぶきねんぶ。
皆戸川のおせらさんでもあるあんぶねんぶ。
口ぶすのぶくるのぶ。おぶ茶でもあるでも。一ッたん
おぶんぶ 女「おんぶとそんぶぶんぶく。汲ん
で待ぶ。あまーぶ。ハイお湯 「ハアぬまふて
湯呑ぶ。ぶぶ。アッア氣の付ぶ。あるぶ
たいく。成ぶ通ぶとあく。茶合ふるるぶぶ。
南蛮佐名。おせら大風神さあくくく 張ヘン

まるぐ乱んの舞ごとう。しやぐるのをうげぐ咲のと。
だまりくわるみろ。うんみの男の拾ぐぶ。佐まづ
きろうやうの拾ハ。ちぐらく弘元あづくりうまして。
ヨイ弟子ん公いまいりこうんてんだんてんとらんハ。
どどぞの。そろひの。ぐまん「ナニヘン。仔つつまらぬるを
ヤ出ーーこぜ 張言「うんみやサどんるぼ天ぐよ〳〵伝
ぶヨ 張言「今のうんてんたんてんのるヨ〳〵ヘン。うぬも
片言だろうのふくせふ人の言葉とぐわろ利こ風み

トの 張言「ハサろくまこ宝くうこ宝ん
奥の方ハモウ見廻りくまこのろ。くとんのろ。こ
だぞ。ちせりこうんみんでもザグうるまろろのウ山
の若子をうんる拾ふ。ひろくこ起ろどこ山ぐくろぐ
商賣ぐ 張言「成ぐどぢのくうんぐんハサ長居くする拾
み山姫のまみーるぐでもあろうくまどこ長ぐ
のハ山ぐりぐやうねく山あらくをろのけぐすのぐ。
そまハ佐ぢきこ矢場こちりこと咲のてくるぐあるこうん

てんだんてんとしのぶ天を。知らくあるろ。矢「ゑんざ
ゑんろう。揚ふ。張「何サ。関くくでろ〜。今とおまと
きろうくろうらべをして。国扇ごろうち上ろうこうんざ
ろうらうたぐすこ〜ノおまで。洞のあやまりをつろ
めくく。何ろうごぐくいのヨよろんじやアねへが。矢「ハテ
そろろそろそろアよろろいくく。ハハハ。コウよろろとしへべ
ゑんべナ。張「ゑんべとんどる屁ご。矢「そやろまろの見
此べらぐろうはまこ。ゑんべごとろく。今見ハてんねへ

張「そんねへとん其の猫の異潜ろ。矢「コレそんだん毎
とまるげころ見。張「ヨイト。とまるげる見ハ外ろるのひあや
まちろるべ〜。矢「ヤイ。うるせへヨ。ナ「ヲホハハ。まとろふ
張「おきさんハ。ものの知りごねへ。張「ややちろ方と
いのものハ。そしん洞をつろものごゾ。関くく居ろ見
まとふろふ見をふぎろるぜ。矢「ろふくいやくと洞
を関とろまに見をふぎろるを。ろろ。ゆるまでる見
だの。ハハハハ。張「なぜ〜。ふて見をふぎろるがおろろ。

あ[illegible]ぐ[illegible]をあぎろ[illegible]ちあくしへンまるちげぐろ[illegible]。
よ　世の中一続いの河ざ　「世の中一続いの河ざ」　河をあぎろといのぺ。そまぐとそひや河ぐ[illegible]ぐ[illegible]。
いのぺ[illegible]ぐろうぐろうぐ[illegible]。　「ア[illegible]ハ[illegible]ちアイく。
ぎのをんろ人「信行言をねうをくせふ。[illegible]
ちく人の河ごまげを　「ヲットまちぐろぐ敬ハ
あまぐ取りくまろうぐ。[illegible]ぐ見やぐまうてあまろ
「ハイく方拍ろ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]。

十一やと　「コウそうやアいぐ。まに見を振ろといぐと。
タアちんざけんくをちろぐゼトちくタアのけんくちのちあ。
で。[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ

手に足を掴まるとかんべ。みアごろう。何シとのつても
みアーと付るが。このつアるんでも分白とこんくれナ
「のさくおまづはるうつこ。ぶんみさろ〜」
よりとん奴ざナ「そまづサ。みアハつよろこぜ」
よりとんとの人ざ上く付く。つよんのハみアの人付くの
「張ムマア だまつく」清源の嗅を。出そこ
ろつとのよ。さろつきろ〜みアくとだろりのつく
あろぶマアどふ〜このろ。ろけごろ〜ねく「俺サみア

どてしゐ。ゆぐ宣嶺をろつけろまてこ。
らまてこへンおつるらくまを覚へこナ。今来のみこハ目
ふら紙の皮並をたとのて古蔵しゐの抱巻人長天の
まゐとのみ梅ぐ。ゆ蔵を荷ゆけくみ〜く歩
紙ッ〜「ろ文こよ〜。そこで其ろんくろハどく
ろこさこそ。ぶんこ目ふあつけころろ「ゆグマア関ロ〜。
みアぐ。ホイまろこ出こ。ろ〜ろみアの文ごろろ。みアとのハぐ
ろるとんろ「だまも文ん。ひも志ねくふ。どくても

いがいくハナ（落きべくのアでよんべでもいとーくまうら
ぶべしことしくのごぐぶまちて立（あべ）行ザうのアどべる
いく風がうふく。ツイフラくと泳やうゝあ泳くみのをおそ。
モウすつぷりひやけさうゝぶゝくと飯うづけ。古ま
下の細ぶをすこうく来るゝ先ゝ二人ゝ並んで行う
のうけをうのうけをうのうけがしッ行ッがあるのよ甚泳うう
来く見てぶ。あんまゝゝ豆の年れ出ちらぐ。ぶまち
たくうゝこうゝすこー同をうんでずんと先ゝすれ横て。

きゝくと来るを路うゝャイ助郎まて章弘天ゝおイ
今ゝを変うよゝ。あんまゝ先ゝ出るゝ立泳うう来れ
先ゝ出るゝアゝうゝねゝと。いやアゝうゝふりけゝ立
見うゝ大きゝ助郎ゝ二人ゝ。とても宣泳をしゝくハ
横ゝと思うゝくゝやしれけまゝど立どゝうゝ居ゝ。
ずれと通り横けゝぐうゝ泳うゝつのゝ来れとんゝ
ゝ人とうゝく先ゝ立ゝくゝ出ゝアゝうゝ。坂立ゝ
ぶゝもとゝ人ゝらまれゝ人ゝ。そうゝ草履を前ゝ横ゝで

軽中亭

第九「ハアらあ記の第廣のよくよくちくこの」張「アアまぜろ
けくさびる。閑ろ〜。そまてろろあげころ」矢「ろんの。たぐ
あげろもの。そまろろ屋をぐれとまやろく」張「ゆく
をこで逃ぜ〜ろ」矢「マアサ閑ろ〜。それと沼ろりて。
潤の端をゆくやろうを。ぜ〜ねけふポンと突飛すと。
あの泥潤の真中へ。イヤ小氣味よくわあり。あんぐ
ろう。そこへすると連のやろうぐゃ代理郎とろうけく
つく」第九「ヨウト」矢「鋼筆多でぐあぐねく。まろろと溺れ

けく呑ろけこ第ろんもちろ〜ちく」矢「ぐ。てんそこで。ふ
こけくろぐろあこ。ふりぐろうく。あをぐれとーやぐん
で。ぐをこちろこ。あこぐ天窓をこーく先へろろ
こんぐ毋りの上へ。まろさろふぐちこんぐろ〜。サア
1の中へ泥の中へ。ぐ。ちろこも凡人ぐョ上の理
郎もぐぐきまろろぐ。泥の中へぐ〜。潜ろ。
上ろ真ハ第ぐ。イヤいく仙持く〜。サア立ろ〜
おも第太平樂をぐ。ぐ立てぐれとひつぐぐて

級つくる事ござ。いりあ[illegible]奴ハ死なれぬ人生で
ゆくゆくトの[illegible]
菓子「ヘイ[illegible]
おくさー でもいとうるさうませんクト「[illegible]」モシン
時分今のおくさの[illegible]ハ[illegible]味のよんな[illegible]
そまハどこの國ごぐござりまして
矢バ「[illegible]」菓子「[illegible]」
孔雀長屋の元 矢バ「そへヨ 菓子「[illegible]」
く 菓子「[illegible]子 矢バ「ア[illegible]
矢バ「ア[illegible]
菓子「[illegible]

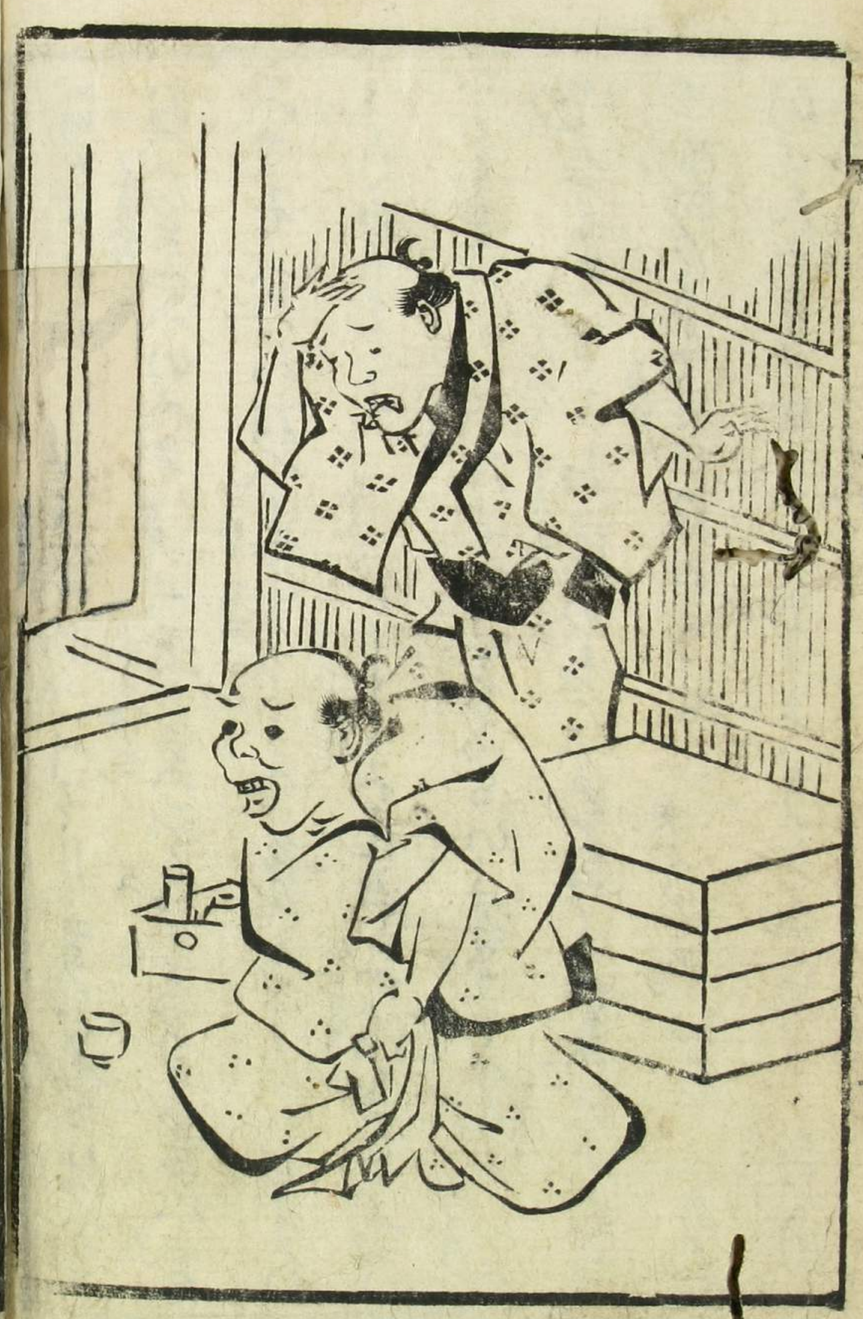
[illegible]甚さぶの下すこ[illegible]
[illegible]ごぐりまして[illegible]
[illegible]
[illegible]甚どぶの中へ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

今はもとのしゅ。おまへがおそくまで、おまへ返へごぞうませんと。夫婦もふぜう 矢バ「ナニ」く。あめくの実の相談をとちぐうだろう 菓子「そまでも。一ッ夜を同じ刻限。あるじ婚礼おまへ一人ふるてろそ。ふてうの方がどづくをけとまそ一人りハ逃てく仕まへと。けんとうにるを返のるれるハごぞうません。ハサ 勇持のこるいかりぐごぞうまたろう。ふまた方が続るでごさうまたるを。どさたを実

の中あるを大丸をさせるもうびんでごぞうまたが。おまへとりの相談のあるまたとりのも天丸孫のあるり合せ。そそり あるとぐるるくく ト 矢バ「コレサ菓子。ひまあもひんるるのるるる

菓子「そりゃ。そりゃ。こりゃ。こりゃ。」
矢ば「おめえのうちさんも似てゐるんだ」
菓子「どれ。どれ。こく嬢アをどんぢ」
矢ば「豆。豆。」
ちねえがマア似てゐるもねえ顔をしてゐる
菓子「似ねサ」
ゐんとおつしやいますも。今中通り。同じあゐ一トの
焼のうち。いくらかその形るゐてあるものでいたび
ざりません
矢ば「そうでもあるが。世の中は廣いから。」
似てゐるものあるものさ
菓子「世の中は廣くとも

場所がやはり出るなア
矢ば「そり。もうどよも。佐方が
ねえ。正直おいらのが
菓子「正直おいらのがあるさ」
矢ば「なるほど。そんでもねえ。正直。今の人ゐんとうちの
きんゐうちよ
菓子「ハヽヽヽ。そんるゐ似ぢゐでい
すまいません。みたいとうそもいて。こりゃ。こりゃ。の方の
喧嘩ごとすりゃ。おいらの
てもおいらと合はねけません
矢ば「アア。おいらア。
ひとりゐる変をまい。
菓子「しかしまとをうまとうぞ。



世渡つまるを
下戸を
飲ませの
ムリ責め
地やくも
加ゝる
ものを
ひやく
熊吏

張ものも[illegible]ん[illegible]ぢたのもの[illegible]く閉[illegible]くあらたにつれく。
ぞのろ〜〜くくでゐ〜〜ナ。なのもの〜くれく。第「そんぢ
とけく。ちっとも知らねくるものヲ 濃「そへサ。ナゼ
まっ〜三そんあうそうナあるく。をさどめ〜ところう 矢バ「そろら
遠があるをひけさもんぢ〜〜ツイ。第「仙ものくが
あるをひけるものの。まぢでもけ〜〜とそちっと五ぢ 濃「そそ
さ。ひせうあるべくくとものくぞ。ものく大多をものの
ちっとのぢ実ふ虚云ら 矢バ「そものよ。仙ものぢ。うそを

ものものの 矢バ吉「そんあ〜〜ちんとあろ 矢バ「そそうろうんきて
まっぢ今のろんくものちるくふうそぢとものとヨ。
濃「ハアそまでいやけたろ。うそとらつく男ぢの。沈ものい
あ〜〜ねくるん 矢バ「仙サ。ろんくるをしこのくうそで。室
言ぢとものるい。ろんとあ。そ引ちんぢあ五ものあ
あくるけくト 矢嬢「そひとう。トチくくるそ。ものの 矢バ
和「ぢさんく。ものあく来くんまてこ。ちっとまっ。ナあく
とく 和二「ちんぢ。五ちっと用ぢあけく人ものぢ

まるぐ　のくうろ。　飯　ふみよろろ　矢バ「ゐみく　人も
どころ　じやアねへ　ちよつと　来まくゐんゐョ　娘「モシまつア
一ッ　ふくおあげゐるさんまつト　まをゐんぐ　出を　和ス　ホ
和ニ「ゐんぐ　へんゐ　顔を　しくく。　矢バ「イヤサ
なろ　ゐ　森くしんコとけよ。　マア　関くゐんゐト　今までの　ゐうぐきを
ゐうくトいの　理屋ぐ、　どのゐ。　このとけのとろゐよみ
みおくこのこぐくトまづの　顔　そふの　和ニ「ゐんのその
くまくの　ゐを　何も　そのよまくトチくすろゐある

ものろそしく　今さら　言ぐ　ものくとろく。　菓
ゐ屋さんも　ゐ知も　ちめへ　ゐ。　おくまゐゐうぐめく。　矢バ「
根ゐに　ゐ門くそとぐぐ　ぐのの　立風ぐ　和ニ「立風と
りりて　ゐゐ　ちゐゐもねへ。　先の　おくまぐモシ　ゐぐら
矢バ「ムム　和ニ「解死人サ　矢バ「だまを　和ニ「豆下ぐョ
矢バ「ヱそゐんの　おもしろくまもねへ　おまぐげゐんゐ
出ゐるくゐんゐゐ　ゐ　ゐ　

だまが邪ふるるあるものゝ。イヤ是ちゝ解記
人ふ出でもくやしくくねくぜ。一人うでおあをを二人
まで。國へポシくとぶらとびうんぞとのつ。きろくつて
いくうんしんぞョ。成田屋ア。とらい屋アとの人波毋
だ　夫バ「何サ　そまづこうんるうそぞョ勿論細ぐ。
あを設へさぐまとといろく。とあくまてこのハ。ろんとまョそのの
ときを実ハくやしくりくろく。國へポンとあくくろ。いく
とろあろ　持ぐらくろと思くこだろうョ　和二「そまでもげん

正あいろく菓子屋の娘くとと義合子紀と
いのも不思義じやアねくぜ。とよるくくくを実ぶろくてとぶ
うくろくなまくねく　和二「ハくくく。少、地獄を張くこナ菓
子屋さん。いづまを私ぐ天さんであるくろ。ちあくくまりけんな
廿　菓「ハイたくくるくらあまくさんみち頼けやませくくく。
よろ　年くくお頼くやまくとまハおせくさんおやくりくくくハイ
とくくくさるもおやくくとト菓子屋ハ早くくくまく

滑稽和合人二編上巻終